
長中魂



平成29年7月21日(金)

第14号

伊豆の国市立長岡中学校だより
文責 守野 和弘

1学期終業式・代表の言葉

平成29年度第1学期が本日をもって終了しました。第1ステージ「出会い」、第2ステージ「挑戦」の中でどう取り組み、成果や課題は何だったのか、また、夏休みや2学期への抱負は何かなど、各学年の代表生徒が述べてくれました。



1年1組 井上 穂夏さん

中学生になって、小学生とは違う生活が始まりました。授業の科目も増え、初めての部活動には胸が高鳴りました。

4月から色々なことがありましたが、最初にあった大きな思い出といえば、やはり学年行事の宿泊体験です。私は学年委員という立場から、仲間作りを目標に宿泊体験の準備をしていきました。そして当日は、スタンプやカレー作り、ウォーキングを通して、大変なこともあったけれども、他校であった子ども絆を深めることができたと思います。ここで深めた絆を持続させるために私は、学校に帰ってからも工夫をしていきたいと思いました。



そして、学年委員であいさつ名人を企画しました。6月になると、中学校生活に慣れ始めてあいさつの声小さくなってきました。しかし、あいさつ名人をやって、授業の挨拶で、A評価の上のS評価をもらえるクラスが多くなりました。

このように私たち1年生はやる時にはやれる学年であると思います。しかし、普段、無駄口の声が大きくてクラスの雰囲気を悪くすることがあります。だから、うるさいときには注意し合えるようにできる学年を作りたいです。

学習面では、個人的な振り返りになりますが、テスト勉強をがんばれました。1日にどれくらいの時間勉強するかを計画し、定期テストに向かって勉強しました。そして、努力をした成果が出て、目標を達成することができたときはとてもうれしかったです。しかし、勉強中にゲームやお菓子を手に取ってしまったこともあるので、これからはそこを直したいです。

2学期には、かつらぎ祭という大きな行事があります。ここで必要なことは絆だと思います。夏休みの一ヶ月で1学期に作ってきた絆がなくならないように、夏休みも気を引きして生活していきたいです。そして、2学期からも学年委員として学年の絆を深めていけるように色々企画をしてがんばりたいと思います。



2年4組 加藤 大智さん

2年生になって、もう3か月以上が過ぎました。1学期を振り返ってみると、中堅学年として先輩や後輩などの周りの人に信頼されるように頑張ってきたという印象があります。4月に2年4組という新しいクラス、仲間と出会い、学級目標「魅せる！三十の輝き」に向かって行事などを頑張ってきました。

特に頑張ったのは部活動です。僕は陸上部です。陸上の中体連はどの部活動よりも一足先に行われます。陸上部激励会の時に、部長が「先陣を切れるように頑張ります。」と言いました。1・2年生が最後の勝負を迎える3年生のサポートをしないと、「県大会に十人行く」という部の目標を達成できません。サポートするのと並行して、自分が出場する種目の練習をしなければならず、大変でした。

そして迎えた中体連。自分は県大会に行けなかったけれど、「県大会に十人行く」という部の目標は達成することができました。また、部長は陸上部史上初の全国大会に進むことができました。県大会、東海大会、全国大会に向けて頑張っていました。

今日の終業式を終えると、長い夏休みになり、2学期を迎えます。夏休み中の大会で3年生が引退となり、2年生が部を引っ張っていきます。3年生が積み上げてきた伝統を受け継ぎ、より素晴らしい部活動のなれるように努力していきたいです。

また、2学期にはかつらぎ祭があります。2年生の学年種目は縦ムカデ。クラスの絆が試される競技です。2年4組の団結力は、どのクラスよりも秀でていと思うので、絶対に優賞したいです。

2年生の3分の1が今日終わります。一人一人が輝いた1学期。2学期はクラスとして輝くときだと思えます。1学期で深め合った強い絆を見せつけられる2学期にしていきたいです。



3年2組 村川 健太さん

いつの間にか外からは蝉の大合唱が響き渡り、明日から夏休みが始まります。

私の1学期の目標は、「楽をしない、甘えない」でした。しかし、それを完璧に達成することはできませんでした。例えば英語の弁論大会に出場することは決められましたが、かつらぎ祭の役決めの時など、「面倒だからやりたくない」気持ちがはたらき、進んで参加することができない弱さもありました。

だから、私の2学期の目標は、「得意なことに自信をもち、苦手なことにも挑戦する」ということです。自分の得意なことは今以上に積極的に、苦手なことにもどんどん挑戦していくという意気込みです。2学期は、高校への大事なステップとなる学期でもあり、「あの時もっとちゃんとしておけばよかった」など、後悔することがないようにしたいです。それには私たちは、お互いに応援し合うことが必要です。「一人じゃない」ということだけで、心の重みが大きく変わります。これから過ごす一日一日を大切にして、受験を迎え、そして気持ちよく卒業できるようにしたいと思います。

さて、その前に、明日からの夏休み。学習に自信をつける、苦手を克服する大きなチャンスです。今まで部活動などで自分に厳しくしてきたように、自分をもう一つ上のステージへ上げるように努力していきたいです。

